



あるものと、別のあるものを結びつけて考えることによって、考えがより確かになり、それそれだけではわからない新しい考えや見方を得たり、新しい発想が生まれたりします。

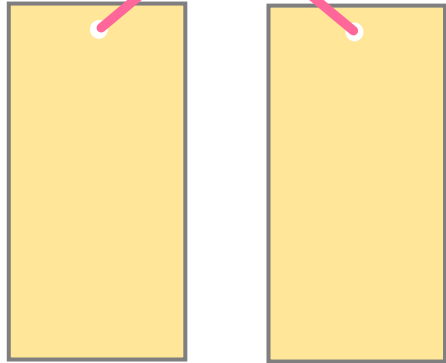
リンクチャートは、二つ以上の事柄を並べ、結びつけて考えるときに使うチャートです。どのような観点で関連づけたのか、関連づけることによってどのような発想が得られたのかをメモしておく、思考の流れが可視化され、見直したときにわかりやすくなります。

観点によっては、意外なもの同士が関連づけられることもあるよ。



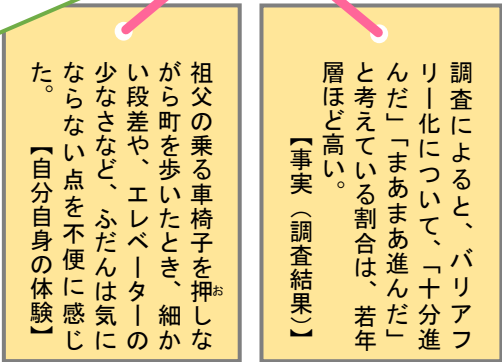
リンクチャート

関連づける



リンクチャートの使い方の例

関連づける



若年層はバリアフリー化を実感しているのではなく、生活のなかで不便さを感じる機会が比較的少ないのではないか？

リンクチャートで関連づける事柄は、「具体例と具体例」「過去のできごとと現在のできごと」「事実と自分自身の体験」などさまざまな場合が考えられます。

上の図では、「バリアフリー化について、『十分進んだ』『まあまあ進んだ』と考えている割合は、若年層ほど高い。」という事実（調査結果）と、祖父の乗る車椅子を押したときの自分自身の体験とを関連づけることで、自分なりの考えを得ています。

チャートに書いてみることで、頭の中で考えていることが整理されるよ。





思考の
方法

関連づける

リンクチャート

リンクチャート

